

令和5年度におけるスポーツ推進計画の主な取組み状況について

基本目標Ⅰ 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進

推進項目

- (1) 誰もが楽しめるスポーツ機会の創出
- (2) 子どものスポーツ活動の推進
- (3) 18歳からのライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- (4) 障がい者のスポーツ活動の推進

1 スポーツ少年団本部活動

- ・子ども達の大会参加の機会を確保するため、各専門部会が主体となって酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会を開催（※野球、サッカー、卓球、バレーボール、バスケットボール、剣道の6競技の大会。81チーム、900名が参加）。
- ・新たな指導者資格制度「スタートコーチ（スポーツ少年団）」の養成講習会が開催され、本市から28名が参加。また、新たな指導者資格制度への移行に伴う指導者および単位の負担軽減を図るため、資格取得にかかる費用に対して補助を行っており、35団に交付済み（令和6年1月末現在）。

2 鬼ごっこによる体力向上事業

- ・東北公益文科大学の体育系クラブ（男女バレーボール部・女子サッカー部）に所属する学生の協力を得て、市内9つの小学校において体育の授業の一部分で鬼ごっこを実施（令和6年1月末で9校全て終了）。鬼ごっこ以外の時間は、担任の先生の補助（アシスタントティーチャー）として授業に参加。
- ・大学生が準備してきた鬼ごっこ（ケイドロ、バナナ鬼、ねことねずみ、など）の実施のみならず、希望する学校にはスポーツ振興課職員が主体となってスポーツ鬼ごっこを実施。

《令和5年度の取組状況》

小学校名	担当部活名	実施回数内訳（回）						実施回数合計（回）
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
富士見小学校	女子サッカー部	/	/	/	/	5	5	10
亀ヶ崎小学校		2	2	2	2	2	/	10
松原小学校		/	/	/	/	5	5	10
松陵小学校	女子バレーボール部	/	/	/	/	10	/	10
泉小学校		3	3	2	2	/	/	10
西荒瀬小学校		/	/	4		6		10
新堀小学校		4			6			10
浜中小学校	男子バレーボール部	/	/	5		5		10
黒森小学校		3		3		4		10

《富士見小学校での事業の様子》



▲大学生と鬼ごっこを行う子ども達



▲鬼ごっこ後は、アシスタントティーチャーとして大学生も授業に参加

【実施した小学校の先生からの声】

- ・大学生と関わることができ、体力向上だけでなく、良い交流の機会を得た。
- ・「考えるスポーツ鬼ごっこ」により、子どもたちの遊びに対する認識が変わった。高学年では、日常の遊びの中に取り入れて楽しんでいた。
- ・児童が楽しそうに笑顔で活動していた。
- ・子ども達の体力づくり、ウォーミングアップとして効果的だった。

3 スポーツ推進委員会

- ・第6回ニュースポーツ大会（令和5年10月1日）を開催し、地域住民の「する」スポーツ機会の創出に取り組んだ（カローリング：12チーム、フロアカーリング：4チーム参加）。
- ・会員研修として第10回酒田市スポーツ推進委員会研究協議会（令和5年11月25日）を開催し、東京2020パラリンピックトライアスロン競技において銀メダルを獲得した宇田秀生選手の講演会を、希望ホールで実施した。また、講演会の前日には市内3つの小学校（松陵小学校、西荒瀬小学校、平田小学校）に宇田選手が訪問し、講演やトライアスロン競技の説明、競技用車いすの試乗体験を行った。
- ・全国研究協議会（青森県青森市・令和5年11月16日-17日・5名参加）、東北研修会（岩手県花巻市・令和5年7月7日-8日・6名参加）、県研究大会（長井市・令和5年6月24日・17名参加）、庄内地区研修会（三川町・5月27日・26名参加）へ地域におけるコーディネーター・指導者としての資質向上を図るために参加した。



▲宇田選手の学校訪問（松陵小学校）

・モルックの競技と普及に取り組む酒田米菓のモルック部と、市スポーツ推進委員会が共催で第2回酒田市モルック大会を開催（令和5年12月3日。33チーム、173名参加（スポーツ推進委員46名含む）。小学生から80代までさまざまな年代構成の地区・企業等がチームとして参加。

・昨年度に引き続き、スポーツ未実施者層へのアプローチとして、酒田駅前交流拠点施設ミライニの指定管理者（（株）図書館流通センター）と協力して、ミライニ図書館内でニュースポーツ（ボッチャ、モルック）の体験会を開催。

○期 間 令和5年6月～令和6年3月

○開催回数 月1回（1月まで8回開催済）



▲ニュースポーツ体験会（ボッチャ）

4 ラン&ウォークイベント

- ・「働き世代を対象にしたスポーツ実施率の向上」及び「コロナ禍における健康増進に取り組む機会の創出」をねらいとして、スマートフォンのアプリを活用した民間主催の「ラン&ウォーク」イベントに参加。
- ・スマートフォンのアプリを利用した参加無料のオンラインイベントで、5月と10月の1か月間の歩数や走行距離を全国の参加者と競い合う内容。

【5月「さつきラン&ウォーク（企業対抗）」】

- ・市独自にウォーキングの部の上位3チームに記念品（モルック等）を贈呈。

第1位 （株）ト一屋

第2位 NPO法人 元気王国

第3位 東北東ソー化学(株)



【10月「オクトーバーラン&ウォーク（自治体対抗）」】

- ・市独自にウォーキングの部の上位50名に副賞（市内日帰り温泉施設無料入浴券またはにぎわい健康プラザ無料利用券）を贈呈。

○参加自治体 全国319自治体（総勢235,269名）

県内18市町村（総勢3,672名）

○結果（酒田市・全国市区町村対抗戦） 参加118名（歩行記録ありの方のみ）



	部門	参加者1人あたりの平均歩数	参加住民全員の累計歩数	住民人口あたりの参加率
ウォーキング	実績	165,779 歩 (△26,650 歩)	19,564,319 歩 (△5,069,202 歩)	0.32% (+0.09%)

() 内の数値は前回比較値。

5 中学校運動部活動の地域移行

- ・運動部活動改革については学校教育課が主管課として動いているが、スポーツ振興課においては酒田市総合型地域スポーツクラブ情報交換会を開催（令和5年9月20日）。5つのクラブが参加し、公認指定クラブ制度やアフターコロナにおける活動状況等を話し合った。今後も、各中学校やスポーツ少年団・各競技団体等と情報共有し、協議を重ねながら課題に対応していきたいと考えている。